

# 鹿児島県医師連盟 FAX ニュース

※会員の皆様へ 鹿児島県医師連盟編集・発行のFAXニュースです。医師連盟関係の情報を随時お送り致します。

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL：099-213-1011 FAX：099-213-1012

## 鹿児島県医療関連団体が総決起大会 衆院選、自民公認4候補を激励

鹿児島県内の医療関連団体による第50回衆議院議員総選挙総決起大会が10月24日午後7時から鹿児島県医師会館4階大ホールで開催された。県医師連盟、県歯科医師連盟、県薬剤師連盟、県看護連盟の会員の他、医療関連団体の関係者並びに大島郡、熊毛地区医師連盟からのWeb中継を含めて約400人が参加した。鹿児島1区のみやじ拓馬候補（44）、2区のやすおか宏武候補（51）が決意表明、日程の都合がつかなかった3区の小里やすひろ候補（66）は長男の佳嵩氏が代理出席、同じく4区の森山ひろし候補（79）も県議会議員の田之上耕三氏が代理で出席した。

総決起大会は10月27日の投票日を前に、自民党の公認候補を激励するのが目的。冒頭、県医師連盟の牧角寛郎委員長が「今の政治は自民党、公明党の与党が引っ張っている。今回の衆院選でもこの安定した体制を何としても堅持しなければならない。4人の自民党公認候補を国政の舞台に送り出すために、最後の最後まで全力で戦い抜こう」と力強く激励した。

続いて自民党鹿児島県支部連合会選挙対策委員長の野村哲郎参議院議員が登壇。「この選挙は鹿児島の将来を誰に託すのかという重要な選挙だ。自民公認の4候補はこれからの鹿児島にとって欠かせない人材。一生懸命頑張っているのです、皆さんの力添えを宜しくお願いします」と述べた。

このあと、県歯科医師連盟の堀川清一会長、県薬剤師連盟の谷口欣平幹事長、県看護連盟の吉崎和子会長が次々に挨拶。「コロナの時、自民党がしっかりやってくれたから今がある。一致団結して必ず勝利を勝ち取ろう」と檄を飛ばした。

引き続き候補者らの決意表明があり、1区のみやじ候補は「コロナ禍のとき、医療関係者が命がけで働いていただいたことに改めて感謝したい。今も厳しい環境のなかで命と健康を守っていただいている。将来の医療の在り方を今後も考えていく」と述べた。2区のやすおか候補は「深刻な人材不足で、このままでは地域医療を維持できないという現場の悲痛な声を、国政に届けなければならない。この3年間国政で仕事をしてきた自負がある。最後まで力を尽くす」と力を込めた。

3区小里候補の長男・佳嵩氏は本人の決意表明文を代読。「少子高齢化、人口減少の流れに歯止めをかけるため、令和の地方創生を進めていく。医療関係従事者の処遇改善、医師の偏在対策にも全力で取り組む。希望ある故郷づくりのため渾身の力を振り絞っていく」とした。4区の森山候補の代理で挨拶した田之上県議は「自民党幹事長の大事な仕事は選挙に勝つことで、森山候補は全国を飛び回っている。地方が元気であることが日本の明るい未来につながると訴え、社会保障制度の充実や医療体制の確保と質の充実などを公約にしている」と述べた。

決起大会の最後は、日本栄養士連盟鹿児島県支部の西村和子支部長と県看護連盟の英裕子幹事長らが候補ら4氏に花束を贈呈。県薬剤師連盟の丸田沙生副会長が「自民党の完全勝利を勝ち取ろう」と檄を飛ばし、参加者全員で「頑張ろう」を三唱した。

（文責・事務局）

各選挙区の推薦候補は次の通り（敬称略）

- 【鹿児島1区】 みやじ 拓馬
- 【鹿児島2区】 やすおか 宏武
- 【鹿児島3区】 小里 やすひろ
- 【鹿児島4区】 森山 ひろし

## 期日前投票のお願い！

**10月26日（土）まで、指定の期日前投票所において  
期日前投票ができます！**

**選挙ハガキや身分証を忘れても大丈夫です！**

**とても簡単に投票できます！**

**是非、期日前投票に行きましょう！**